

平成19年9月1日発行(毎月1回1日発行) 第36巻・第9号 通算420号
昭和50年7月2日第三種郵便物認可

ラグビーマガジン

Rugby

magazine

SEP.2007 No.420

9



RWC2007 COUNTDOWN②
スティーブ小林の『出場国、気になる監督たち』

本誌選定大学春番付
ワセダ追う包囲網の中間診断

ワ
ー
ル
ド
カ
ッ
プ
直
前
特
集

インタビュー▽ジョン・カーワン「日本代表ヘッドコーチ」
レポート▽日本代表サマーキャンプ in 中標津
識者が語るJKジャパン/清宮克幸他
W杯へ、それぞれの想い⑥松原裕司「HO」
箕内主将、日本の「いま」を語る③
大畑大介、フランスへの道④

EYES ON THE GLORY

特別
定価 860円
ベースボール・マガジン社
<http://www.bbm-japan.com>

International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association
JAPAN TOUR 2007 International Beach Football Association



B-1プレミアム・優勝
Beach Boys(東京都)



B-1プレミアム・準優勝
Save(東京都)



レディース・優勝
JOLIES(東京都)



レディース・準優勝
PHOENIX(神奈川県)



オーバー35・優勝
マンビーズ(和歌山県)

青い空、白い砂浜！ 第12回を迎えた南紀白浜大会は晴天に恵まれ、真夏を思わせる日差しの下で熱い戦いが繰り広げられた。

一般・予選1位チームの集うB-1プレミアムトーナメント。東海大会で優勝をさらったDENKO MACが参戦し注目を集めたが、2回戦で早々に敗退。そのDENKO MACを破ったのが、昨年の全国準優勝チーム・Beach Boys。東海大会ではトーナメント初戦で姿を消したBeach Boysだったが、1週間で大幅な成長をみせ、特にディフェンスを大きく修正。予選リーグから準決勝までの全試合を完封で勝ち上がり、トーナメント決勝に進出した。

決勝進出のもう1チームはSave。聞きなれない名前のチームながら、予選からスーパープレーを連発し観客の目を釘付けにする。それもそのはず、Saveは昨夏、全国の頂点に立ち06年シーズン限りでの解散を宣言したチームキヤノン、そして関東の強豪・如水庵のメンバーを主体に結成されたチームなのだ。

実質、昨年の全国大会決勝の再現となった決勝戦。Saveはランやダミーなど、トリッキーな個人技でタッチインを狙うが、Beach Boysはここでも鉄壁の防御を見せる。1対1でことごとく仕掛けの芽を摘まれたSaveはサ

インプレーなどの武器を活かせず、相手にスコアを許さなかったBeach Boysが、19-0と圧勝した。

一方、レディーストーナメントでもレベルの高いゲームが展開された。決勝に進出したのはツアーの連勝街道をひた走るJOLIESと、女子ラグビーの強豪チームとしても名を馳せるPHOENIX。パススキルや体力に勝るPHOENIXに対し、JOLIESは砂浜でのランやフロントパスの有効な使い方など、ビーチフットボールとしての成熟したプレーで対抗。関東勢同士の対決は、7-3でJOLIESが勝利を収めた。JOLIESが東海大会で既に全国大会出場権を獲得しているため、PHOENIXが南紀白浜の代表に。今回は敗れたPHOENIXだが、ゲームの運び次第でJOLIESを脅かす存在になるポテンシャルを持っており、全国大会での再戦に期待が高まる。

「気温が30℃近くまで上がる厳しいコンディションの中、体調を崩すプレーヤーが1人も出なかった。1人1人が水分補給などのケアをきちんとおこなっていること表れ」と若狭IBFA副会長。会場でのごみの分別も定着し、プレーだけでなく、美しい砂浜での大会を楽しむ空気に包まれた2日間となった。

▶ CUP TOURNAMENT

牛々亭	4	0
DENKO MAC	23	0
Beach Boys	27	19
ヒガシクラブ	0	19
チームゴタ	0	19
日本海	26	6
BE@RS	33	0
王寺工業	0	21
Germ's	0	6
BE@RS Crescendo	4	0
RED LION	0	12
team ZERO	20	0
ハバナクラブ	0	0
マジックマッシュ	11	0
B-DASH	6	0
Beach Boys of joytoy	6	0
浜猿	0	23
Save	27	3

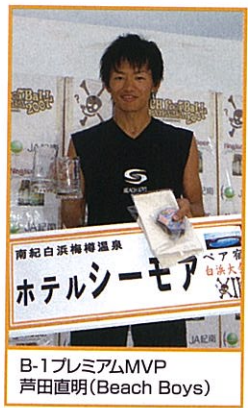
□3位決定戦 team ZERO 10-3 日本海

▶ LADY'S TOURNAMENT

JOLIES	8	0
チーム三世	0	16
くっちょくっ	6	7
SWITCH-on!	0	0
PROSPERARE	22	0
マジックエリンギ	7	0
小梅	4	0
HERCULES	不戦勝	0
熊野高校女子	0	11
PHOENIX	19	3

▶ OVER 35 TOURNAMENT

マンビーズ	17	8
アウトセンター	不戦勝	0
パイレーツ田辺湾	不戦勝	0
HRC	4	7
和歌山クラブ	6	7



B-1プレミアムMVP
芦田直明(Beach Boys)



レディースMVP
山本英里子(JOLIES)



オーバー35MVP
小川選手(マンビーズ)

お楽しみイベントも充実！ 恒例のじゃんけん大会と、子どもたちに大人気のボール入れゲーム

6/30(土)・7/1(日)
和歌山県白浜町・白良浜海水浴場
主催：国際ビーチフットボール協会



Beach Boys、雪辱！

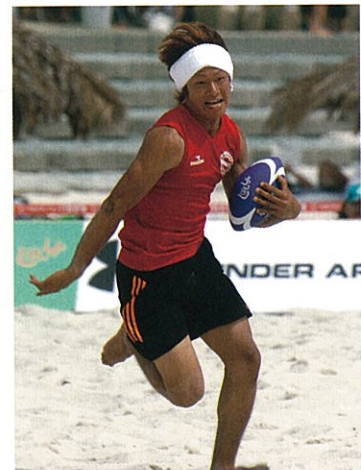
女王・JOLIESの不敗神話つづく。

東海大会ではトーナメント初戦で姿を消したBeach Boysだったが、今大会では圧倒的な強さで優勝をさらった

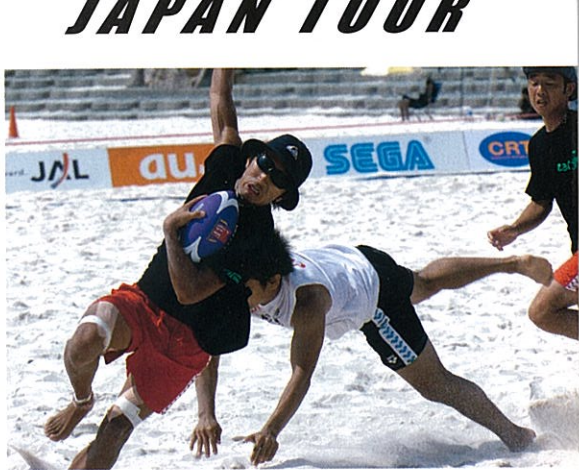
INTERNATIONAL BEACH FOOTBALL ASSOCIATION
IBFA 2007
JAPAN TOUR



レディースの新勢力、PHOENIX。ラグビー仕込みのスキルは折り紙つき！



準決勝進出を果たした日本海。真っ白な砂浜を駆ける！



白熱の準決勝、Save対Zero。アクロバティックな身のこなしでディフェンスを振り切る